

情報処理学会 IoT行動変容学研究グループ

第3回研究会 (BTI3)

- ❖ URL: <http://www.sig-bti.jp/event/bti03.html> • Twitter: [@ipsjbtj](https://twitter.com/ipsjbtj)
- ❖ 日程: 2023年3月6日(月)9:30 ~
- ❖ オンサイト会場: 九州大学 伊都キャンパス 共進化
- ❖ オンライン会場: zoom(参加者の方にメールでお知らせいたします)
- ❖ 九州大学近辺のスポットマップ: <https://sharecheese.page.link/9A4F>

◆ 会場内マップ



◆ プログラム

- 08:30- 受付
- 09:30-09:50 オープニングセッション: A会場, (B会場での配信あり)
- 09:50-10:00 部屋移動時間
- 10:00-11:30 セッション1(90min): A会場, B会場
- 11:30-13:00 昼食休憩(各自自由:場所は上記スポットマップを参照ください)
- 13:00-14:30 デモ・ポスターセッション(90min):デモポスター会場
- 14:30-15:00 休憩
- 15:00-16:30 セッション2(90min): A会場, B会場
- 16:30-16:45 休憩
- 16:45-18:00 セッション3(75min): A会場, B会場
- 18:00-18:15 休憩
- 18:15-18:45 スポンサーセッション(30min): A会場, (B会場での配信あり)
- 18:45-19:00 クロージングセッション
- 19:00-19:30 懇親会会場への移動(送迎バス)
- 19:30-21:00 懇親会

◆ 発表フォーマット

- 口頭発表(1件当たり18分:発表12分 + 質疑 5分 + 交代1分)
- スポンサー発表(1件当たり15分)
- デモ・ポスター(前半・後半に分け、45分ずつ)

09:30-09:50 オープニングセッション: A会場, (B会場での配信あり)	
09:50-10:00 部屋移動時間	
10:00-11:30 セッション1(90min):パラレル	
セッション1A: A会場	セッション1B: B会場
<p>1A-1 Kaolid: 飲料の味変化のための口中香を実現する蓋型嗅覚デバイスの設計と基礎評価 真弓大輝(奈良先端科学技術大学院大学), 中村優吾(九州大学), 松田裕貴(奈良先端科学技術大学院大学), 三崎慎也(奈良先端科学技術大学院大学), 安本慶一(奈良先端科学技術大学院大学)</p> <p>1A-2 Vacuum Colorner: 複合現実を用いた掃除における行動変容を促すアプリケーションの提案 浜田惇矢(慶應義塾大学), 浜中智己(慶應義塾大学), 佐々木航(慶應義塾大学), 大越匡(慶應義塾大学), 中澤仁(慶應義塾大学)</p> <p>1A-3 水分補給支援システムと行動変容検証 元川錦(青山学院大学), 横窪安奈(青山学院大学), ロペズギヨーム(青山学院大学)</p> <p>1A-4 (オンライン) 高齢者の介護予防に向けた行動変容を促す介入方法の推定 早川昭二(富士通株式会社), 渡辺一郎(富士通株式会社), 上村拓也(富士通株式会社), 前田一穂(富士通株式会社), 烏谷彰(富士通株式会社)</p> <p>1A-5 目標宣言共有型プラットフォームを用いたソーシャルナッジの量的質的効果の評価 濱谷尚志(NTTドコモ), 落合桂一(NTTドコモ), 山田渉(NTTドコモ), 檜山聡(NTTドコモ), 白井拓也(NTTドコモ), 荒川豊(九州大学)</p>	<p>1B-1 イスの揺れからの人物と活動の識別 望月康平(山梨大学), 細川健人(山梨大学), 豊浦正広(山梨大学)</p> <p>1B-2 Stand-up Activity Prediction from Textile Pressure Sensors Tahia Tazin (Kyushu Institute of Technology), John Noel Victorino (Kyushu Institute of Technology), Yu Enokibori (Nagoya University), Sozo Inoue (Kyushu Institute of Technology)</p> <p>1B-3 短時間パターン認識結果の投票的統合によるドア利用者識別 豊浦正広(山梨大学), 奥田雅也(山梨大学)</p> <p>1B-4 顔表情解析による自然な笑いと作り笑いの識別 中嶋桃香(慶應義塾大学), 浜中智己(慶應義塾大学), 佐々木航(慶應義塾大学), 大越匡(慶應義塾大学), 中澤仁(慶應義塾大学)</p> <p>1B-5 (オンライン) Basic experiment related to overconfidence detection method from PC interaction data Picard Sébastien(富士通株式会社), 上村拓也(富士通株式会社), 烏谷彰(富士通株式会社)</p>
11:30-13:00 昼食休憩	
13:00-14:30 デモ・ポスターセッション(90min): ホール会場	
ポスター前半	ポスター後半
<p>DP-1 骨格推定を用いたバドミントンのスマッシュフォーム改善アプリの実装 大原黎明(慶應義塾大学), 中嶋桃香(慶應義塾大学), 浜中智己(慶應義塾大学), 佐々木航(慶應義塾大学), 大越匡(慶應義塾大学), 中澤仁(慶應義塾大学)</p>	<p>DP-8 睡眠の質と量の主観的・客観的評価の乖離について 今野祥太(早稲田大学), 大森幹真(早稲田大学)</p>

<p>DP-2 CoreMoni-α: 効果的な体幹トレーニングのためのリアルタイムフィードバックシステム 佐藤圭翼 (青山学院大学), ロペズギョーム (青山学院大学)</p> <p>DP-3 ウェアラブルエアコンによるフィードバックの生理効果 川崎勇佑 (青山学院大学), 本多一騎 (青山学院大学), ホサインタヘラ (青山学院大学), ロペズ ギョーム (青山学院大学)</p> <p>DP-4 英語の読み能力向上に付随した授業内問題行動の変容 高橋裕子 (早稲田大学), 大森幹真 (早稲田大学)</p> <p>DP-5 刺激の実観察割合による外国語の書き獲得支援: 見せ方の違いによる行動変容の可能性 大森幹真 (早稲田大学)</p> <p>DP-6 拡張現実を用いたマルチプレイ掃除活性化システム 阿部悠貴 (青山学院大学), ロペズ・ギョーム (青山学院大学)</p> <p>DP-7 多様な情報への接触促進を目的とする行動を考慮したコンテンツ適応情報提示システム 小川展夢 (日本放送協会), 松村欣司 (日本放送協会), 藤沢寛 (日本放送協会)</p>	<p>DP-9 主体・客体の相違における言語行動の変容: ASD 傾向との関連 林珠里 (早稲田大学), 大森幹真 (早稲田大学)</p> <p>DP-10 室内環境測定に基づく居住者の行動推定システム 鈴木臣 (愛知大学), 深沢圭一郎 (京都大学), 村井孝子 (純真学園大学)</p> <p>DP-11 コラボレーションの定量・定性分析を接続するIoT システムの一検討 山口隼平 (大阪大学), 大島律子 (静岡大学), 大島純 (静岡大学), 木崎一廣 (大阪大学), 藤橋卓也 (大阪大学), 猿渡俊介 (大阪大学), 渡辺尚 (大阪大学)</p> <p>DP-12 社会的意義付けを活用したハイブリッド介入の基礎検討 柏本幸俊 (KDDI総合研究所), 山崎悠大 (KDDI総合研究所), 曹蓮 (KDDI総合研究所), 上坂大輔 (KDDI総合研究所)</p> <p>DP-13 心理特性に基づいたメッセージ配信によるクーポン開封率向上の検討 三村知洋 (株式会社NTTドコモ), 酒井亮勢 (株式会社NTTドコモ), 石黒慎 (株式会社NTTドコモ), 鈴木喬 (株式会社NTTドコモ), 山田暁 (株式会社NTTドコモ)</p>
<p>14:30-15:00 休憩</p>	
<p>15:00-16:30 セッション2 (90min): パラレル</p>	
<p>セッション2A: A会場</p>	<p>セッション2B: B会場</p>
<p>2A-1 行動変容を促すナッジ文言選定のためのアプリログによる属性情報の補完手法 吉川裕木子 (株式会社NTTドコモ), 勝間田優樹 (株式会社NTTドコモ), 鈴木喬 (株式会社NTTドコモ), 山田暁 (株式会社NTTドコモ)</p> <p>2A-2 法人向け運動促進アプリケーションにおけるインセンティブが身体活動に及ぼす影響の分析 斉藤虎太郎 (九州大学), 江口直輝 (九州大学), 荒川豊 (九州大学), 中村優吾 (九州大学)</p> <p>2A-3 インセンティブとの組み合わせを前提としたナッジ効果測定のための実験設計方法 酒井亮勢, 落合柱一, 井手崇博, 大滝亨, 山田暁, 鈴木喬, 佐藤弘之, 川上博, 矢野達也, 大川博生, 和久井圭祐, 白井拓也 (株式会社NTTドコモ), 荒川豊 (九州大学), 星野崇宏 (慶應義塾大学)</p> <p>2A-4 製造業におけるDX推進に向けたリテラシー醸成の取り</p>	<p>2B-1 ハラスメント被害時の主観的ストレス差異による心拍変動特徴分析 上野貴弘 (福岡大学), 大橋正良 (福岡大学)</p> <p>2B-2 資源循環促進に向けた住民の行動変容 江島直也 (NECソリューションイノベータ株式会社), 日室聡仁 (NECソリューションイノベータ株式会社), 笹鹿祐司 (NECソリューションイノベータ株式会社), 後藤晶 (明治大学)</p> <p>2B-3 健康メディアデザインによる大学生の生活習慣の改善と集中力の向上 千種康民 (東京工科大学), 保坂浩太郎 (東京工科大学), 熊谷華菜 (東京工科大学), 落合育海 (東京工科大学), 今野駿太 (東京工科大学)</p> <p>2B-4 (オンライン) 地磁気センサとBLEビーコンを用いた低コスト屋内混雑</p>

<p>組み 磯田祐世 (株式会社UACJ), 浅田勝義 (株式会社UACJ), 山本佑樹 (株式会社UACJ)</p> <p>2A-5 継続的な学習機能を有するWiFi ポータルシステムの設計と実装 松尾周汰 (九州大学), 中村優吾 (九州大学), 荒川豊 (九州大学)</p>	<p>度推定システム 友浦一樹 (立命館大学), 吉田政望 (立命館大学), 野口拓 (立命館大学)</p> <p>2A-5 混雑緩和やユーザ体験価値向上に向けた行動変容施策の設計および社会実装について 勝間田優樹 (株式会社NTTドコモ), 吉川裕木子 (株式会社NTTドコモ), 鈴木喬 (株式会社NTTドコモ), 山田暁 (株式会社NTTドコモ)</p>
<p>16:30-16:45 休憩</p>	
<p>16:45-18:00 セッション3(75min):パラレル</p>	
<p>セッション3A: A会場</p>	<p>セッション3B: B会場</p>
<p>3A-1 オンライン会議中の参加状態推定と音声変換提示による参加促進手法の提案 城谷知葵 (九州大学), 難波洸也 (九州大学), 中村優吾 (九州大学), 荒川豊 (九州大学)</p> <p>3A-2 スマートウォッチによる煩わしさを低減する通知タイミングの推定方法に関する検討 神田琢也 (NTT社会情報研究所), 高橋公海 (NTT社会情報研究所), 宮島麻美 (NTT社会情報研究所)</p> <p>3A-3 (オンライン) 行動変容を定着化させるための介入制御方式の検討 原田将治 (富士通株式会社), 烏谷彰 (富士通株式会社)</p> <p>3A-4 行動多動性とプッシュ通知による行動変容容易性 田中宏昌 (株式会社NTTドコモ), 實成優馬 (株式会社NTTドコモ), 吉川裕木子 (株式会社NTTドコモ), 勝間田優樹 (株式会社NTTドコモ), 山田渉 (株式会社NTTドコモ), 落合桂一 (株式会社NTTドコモ)</p>	<p>3B-1 (オンライン) 案件割当における従業員の作業時間の均一化を図る割当手法 小林久也 (富士通株式会社), 尾形晋 (富士通株式会社), 烏谷彰 (富士通株式会社)</p> <p>3B-2 製造業における技術革新と行動変容～アルミ圧延加工事業を例に～ 浅田勝義 (株式会社UACJ), 磯田祐世 (株式会社UACJ), 山本佑樹 (株式会社UACJ)</p> <p>3B-3 IoT行動変容に向けた向社会的行動の他者推奨意向に関する検討 山崎悠大 (KDDI総合研究所), 曹蓮 (KDDI総合研究所), 柏本幸俊 (KDDI総合研究所), 上坂大輔 (KDDI総合研究所)</p>
<p>18:00-18:15 休憩</p>	
<p>18:15-18:45 スポンサーセッション:A会場</p> <p>SP-1: アジャイルウェア様</p> <p>SP-2: NTTドコモ様</p>	
<p>18:45-19:00 クロージングセッション</p>	
<p>19:00-19:30 懇親会会場への移動(送迎バス)</p>	
<p>19:30-21:00 懇親会</p>	